

婚活事業アンケート集計表

No.	Q1.イベント内容	Q2.募集方法	Q3.参加対象	Q.4 自由意見
1	夜の運動とリラクゼーション	あんまり婚活を前面に出さない(恥ずかしくて行きづらいため)。	年齢差 10 歳程度にする。	なし
2	スキー場を利用したイベント 天気がよければ、普段見ることのない眺望があじわえます。	年齢や対象範囲を漠然としたものより、田舎や自然に親しむなど「交流の材料」をしっかりと示したほうが、目的がぶれず、しっかり参加意識を持った参加者の集まりになると思います。	「交流の材料」をしっかりと設定すれば広範囲が良いと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・もともと朝日の住民に技術が備わっているものを「交流の材料」とすれば、ここ(地域審議会)で開催する意味が強くなると思います。 ・プロジェクトチームを早めに立ち上げ、レベルの高い位置で、より専門的な情報収集や意見交換を行う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・バスツアー ・スキースノボツアー ・釣り大会 ・ランニング教室 ・登山(ハイキング?) 	地域(市内?朝日地区内?)内については、結婚を希望している独身者の名簿を作成して案内する。 (名簿への登録は自薦、他薦問わない)	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢的には子づくりができる年齢まで ・地域的にはどこでも可 	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、市役所の職員が真剣に婚活するのが良いと思います。 ・マクロな視点では、結ばれるのであれば村上市外で生活しても良いのではないかと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ①愛ランドあさひと連携し実施 ・鮎釣りツアー in 三面川(県外居住者の女性で鮎釣りを始めたい方) ・カヌー体験(県内外でアウトドア好きな女性を集める。新潟医療福祉大学生に協力を依頼する。) ・朝日岳等登山ツアー(山ガールを全国から集める。) ③高根フロンティアクラブと連携した事業 ・既存事業のキャノンとの連携事業を拡大 ④バツ1女性限定事業 ⑤バツ2以上女性限定事業 ⑥空き家を提供してくれそうなところに依頼し、住環境、職場(協力企業を募集する)をセットにして募集する事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・よほどの魅力がないと全国からは集まらないと思う。そして、至れり尽くせりの事業を考えないと集まらないと思う。 ・男性側も、無理やり引っ張り出すことをしても無理。協力側的なスタンスで参加してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外限定とか、中越限定とか、山形限定とか、わざとしぼったほうがいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛ランドあさひとか高根フロンティアとかせっかくの活性化イベント団体があるので活用して、その人たちに考えてもらうのが手っ取り早いし、人も集めやすいと思う。

No.	Q1.イベント内容	Q2.募集方法	Q3.参加対象	Q.4 自由意見
5	各地区まちづくり協議会で企画している事業 ・三面地区～登山道整備 ・猿沢地区～盆踊り ・高根地区・塩野町地区～ごつつおまつり etc	PRしかないでしょ！ 情報ネットワークをフル活用して全国発信！！	婚活事業ですから年齢制限は設けないほうが良いと思うが、人口を増やすことを考えたら 45 歳くらいまでにしたらどうか。	この地域で生活していくわけですから、地域の方と仲良く助け合いながら活動していくことが基本だと思います。行事やイベントには積極的に参加してもらおうことと同時に参加しやすい環境をつくることだと思う。
6	地域の特色を生かし四季を通じた取組が考えられると思う。・春～桜の花見を兼ねたウォーキングクリーン作戦(水明橋上流、右岸会場)・夏～猿沢地区盆おどり会場での共催事業として同会場にて行う。・秋～紅葉鑑賞、森林浴イベントによる交流・冬～蒲萄スキー場を利用した交流イベント	各地域の公民館長を巻き込んだ参加者の動員および村上市内の事業所(主)にお願いし、独身男女の積極的参加により多くの男女の参加が望めるのではないかと？	独身男女に限定し、年齢職業は問わないほうが良い(出て来られる人がより多いほうが良いため)。またその見合い”出会い”をサポートするスタッフも必要。	地域の重要問題なので、若者の勤務先、事業所(主)の協力を得てなれば半強制的に集めないと人は集まらないのでは？てっとり早いのはTVの人気番組ねるとんを招くことだが、あのような”お見合い回らずし”のようなパターンで開けるイベントが必要である。
7	カップルで楽しめるイベント ・そば打ち体験(体験交流センター) ・ピザ作り体験(高根) ・蒲萄スキー場で雪遊び ・ホテル・星空観賞会	・市のHP、地方紙(新潟日報、村上新聞、サンデーいわふね)等でのPR ・斬新なポスター、チラシの作成(業者へ委託)	原案の朝日地区の男女 20 名、地区外 20 名程度、年齢も 25 歳から 40 歳で良い。	まず 1 回目を実施し、その際に参加者からアンケートをもらい、次回に活かず形で進めていけばよいと思う。最初からすべてを求めるとスタッフも参加者も疲れる。
8	【合コンツアー】 ・男女ともに 2 グループに分け、朝日地域の飲食店で合コンを開催する。 ・1 回目 男性A班+女性A班=旭屋食堂、男性B班+女性B班=大吉亭 ・男女ともにグループを入れ替え、朝日地域の飲食店で合コンを開催する。 ・2 回目 男性A班+女性B班=稲穂、男性B班+女性A班=三面川ドライブイン ・3 回目 全員参加、朝日地域を観光・体験した後、みどりの里を会場にパーティー形式で告白の機会を設ける。	・近隣市町村へのチラシ配布、HP掲載、口コミ、声かけ、直接交渉など。 ※告知端末には向かない気がします。	【対象者】 ・村上市に居住する者(ただし、過半数は朝日地区に居住する者) ・結婚後、村上市に居住できる人 【選考条件】 ・今回の婚活事業の趣旨を理解できる人。 ・結婚後、村上市に住所を置ける人 ・男女ともに清潔感のある容姿を保てること。 ・異性から見た自分のレベルをわきまえている人。	・ある婚活参加者のアンケートでは、男性は年収、女性は年齢が第一条件だそうです。

No.	Q1.イベント内容	Q2.募集方法	Q3.参加対象	Q.4 自由意見
9	春夏秋冬を楽しむイベント 【春】お花見パーティー 【夏】瀬波海水浴場を使用したBBQ大会 【秋】直売場の野菜等を使用した料理交流会 【冬】スキー場を利用したスキー・スノボ交流会	・参加者が参加しやすいように、送迎バスを設置する。 ・参加者のアンケートや体験記をHP等で確認できるようにする。 ・継続的に回数を多く実施する。	男性は村上市民(結婚願望がある方)、女性は下越地域および山形県の結婚願望がある方	・ライン・ツイッター・フェイスブック等の活用が必要になると思う。 ・新潟県から委嘱をうけているイベントアドバイザーサポーターズを「町づくり」の一環で利用してみる。
10	仮「結婚させたい者(もん)」募集	子どもの結婚相手を探している親、親戚の子、友人、近所の人を結婚させたいと思っている人たちを募集する。そこに集まった人たち同士が情報交換をしてお見合いまでの段取りをもらう。お見合いが決定したら席料等を予算の中から援助する。めでたく結婚まで話が進んだら結婚に対して援助金を出す。また、お世話した人にも褒賞金を出す。	男性は朝日地区限定、女性は広く募集する。	一概に結婚といっても家同士のつながりになる。両親や同居人等との関係も出てくる。そのことをふまえてお互いの家や家族環境を知っている人たちにより、仲をとりもってもらったほうがスムーズに話が進み、結婚の成功率も高いと思う。
11	婚活を目的としたイベントでアルコールが入らないと盛り上がらない(話がすずまない)若い世代に企画してもらう。	若い世代の男女を実行委員として選出し企画運営する。	実行委員と相談。	数名の若者に聞いたところ…「婚活」というイベント事業は、参加しづらい。その上、告白タイムとなるとどうしてもその場にいる人に告白しなければいけない状況に陥るため気が重い。 婚活イベントは非常に難しい事業であり、参加対象や内容によっては趣旨が変わってしまう可能性が非常に高いと感じる。今、地区内の若い世代が休日を朝日で過ごすというケースが非常に少ないと感じる。まずは、若い世代が朝日で楽しめるような娯楽環境を作ることにより、地区外への流出を防ぎ、また、地区外からの若者や観光客が余暇を過ごすことで出会いの場になるのではないかと。婚活は長期的な事業として捉え、まずは若い世代の流出を検

No.	Q1.イベント内容	Q2.募集方法	Q3.参加対象	Q.4 自由意見
				<p>討すべきではないかと考える。数名の若者との話の中で、社会人になると(職場以外で)なかなか新しい友人ができない。「婚活」というより、仲間づくりを目的にしてもいいのではないかと感じる。夏になると多くの若者がBBQを楽しむが、朝日では該当する場所が見当たらない。朝日山村広場でBBQはできるかという問合せが、毎年 10 件以上ある。(要望も高い)</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ①粟島探検 ②料理作り教室婚活 ③お見合いパーティーin 瀬波温泉 ④婚活ツアーin 軽井沢 	<p>チラシ(新聞)、会社への案内、女性会費の低額</p>	<p>20 歳～35 歳は男女フリー 男性 35 歳を超えるプランでは女性 30 歳～40 歳</p>	
13	<p>季節に合った自然を利用したイベント 春(新緑散策)、夏(水辺の集い)、秋(紅葉散策・食欲の秋料理)、冬(クリスマスに向けた料理)</p>	<p>・企業、団体の協力を得る。(個人情報関係もあるが)・婚活サイトの立ち上げ</p>	<p>基本的には希望者全員と考えるが?</p>	<p>鹿児島県(世話やきキューピット)、群馬県(縁結び世話人)、兵庫県(こうのとりの大使)、茨城県(婚活おばさん)等シニア年齢ががんばっているとのこと。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアイベント ・料理教室的イベント等 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味が同じような人が集まる企画にする。 ・一緒に体験、作業できる企画にする。 	<p>どの年代にするかは、イベント内容により変わりますが、一つのイベントでの参加対象者はある程度しぼった企画を行なったほうが良いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村上市婚活支援事業補助交付対象事業で今年度 5 イベント、その他に 3 イベント行われているのに、これ以上やる必要があるのかは疑問。 ・主催団体が地域審議会となる必要があるのか。若者グループが最初から企画し運営した方が、いい企画ができるのではないかと?